

令和元年度 第3回中区協議会

会議資料

【協議事項】

- ア 中区地域力向上事業 協働センターを核とした地域課題解決事業
「子どもの食育事業」について
- イ 中区地域力向上事業 協働センターを核とした地域課題解決事業
「南部ふれあいシニアサロン事業」について
- ウ 令和元年度 浜松市中区市民活動表彰について

令和元年6月26日開催

中区協議会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	中区地域力向上事業 協働センターを核とした地域課題解決事業 「子どもの食育事業」について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>背景：子どものころの食体験がその後の人生に大きな影響を与えると言われている。そして、食育の実践は、子どもの身体をつくるだけでなく、心の発達にも大きく関わるなど、子どもの心身の成長にとって、非常に重要なことである。</p> <p>経緯：3月9日に曳馬協働センターにて開催した「地域力・地域づくりを考える集い」にて食事と子どもの学力に相関関係があると東京大学牧野教授の話があり、集いに参加したハートフル曳馬から、子どもの食育に貢献したいとの話をいただいたことから、地域課題として取り上げ曳馬協働センターを核に事業を実施していくもの。</p> <p>課題：学習支援ボランティア対象児童や放課後児童会対象児童などは協働センター内で活動しているため、手作りのおやつなどを食べる機会や大人と一緒に食事を調理して食べるという機会が少ない。</p>
対象の区協議会	中区協議会
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的 協働センター内で過ごす児童生徒に手作りのおやつを提供すること、また、夏休みに地域の大人と一緒に食事を作る機会を設けることで、食育を通して郷土に愛着を持つ次世代を育成する。 ・活動場所 曳馬協働センター ・活動内容 子どもへのおやつ提供、食事調理体験、食育 ・参加者 ①曳馬塾の児童・生徒（塾に通っていない曳馬地区の5年生～中学2年生） 30人 ②こうま第3放課後児童会の児童 34人 ③夏休み子ども料理講座で募集する地域児童 24人 ・参加する地域団体 曳馬中学校、曳馬小学校、上島小学校、船越小学校 ・実施時期 ①8月～2月 原則毎月第1土曜日 ②8月～2月 原則毎月第1木曜日 ③8月 1回 ・委託先 ハートフル曳馬
備考（答申・協議結果を得たい時期）	協議結果を得たい時期：令和元年6月末日
担当課	中区区振興課（曳馬協働センター）

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

地域力向上事業「協働センターを核とした地域課題解決事業」

「子どもの食育」事業 概算事業費内訳書

区 分	概 算 額	備 考
委託料	243,000	ハートフル曳馬 【内訳】 人件費 10,000円×15回=150,000円 食料費 ①食材費200円×30人×7回=42,000円 ②食材費200円×34人×7回=47,600円 ③は食材費を参加者から徴収します。 消耗品費 3,400円（レシピ・資料代等）
計	243,000	

※備考欄には区分の内訳を具体的にご記入ください。

令和元年6月26日

地域課題解決事業「子どもの食育事業」(案)

	①	②	③
対象	曳馬塾の児童・生徒 (塾に通っていない小学5年生～中学2年生)	こうま第3放課後児童会の児童	夏休み子ども料理講座で募集する児童
人数	30人	34人	24人
事業内容	手作りおやつの提供と食育	手作りおやつの提供と食育	昼食調理と食育
実施時期	8月～2月 原則第1土曜日	8月～2月 原則第1木曜日	8月8日(木)
委託団体	ハートフル曳馬		

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	中区地域力向上事業 協働センターを核とした地域課題解決事業 「南部ふれあい高齢者サロン事業」について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>背景：人生 100 年時代が到来し、高齢者の健康増進・介護予防や生きがい作りなど自立生活の助長を図るため、人生 100 年型のコミュニティを構築することが必要とされている。</p> <p>サロン活動は地域住民のつながりを深める場であり、高齢者の孤立感や孤独感の解消、介護予防など様々な効果があると言われている。</p> <p>経緯：民生・児童委員より、駅南地区は地区社協が存在せず、地区社協事業の一つである高齢者のサロン活動が実施されていないため、地域の高齢者が交流する場がないと相談を受けたことから、地域課題として取り上げ事業を実施していくもの。</p> <p>課題：地域に地区社協がないため、高齢者が交流できるサロンがない。市中心部に近い地区ほど高齢化率（総人口に対する 65 歳以上人口の割合）が高い傾向にあり、駅南地区は中区の中で 3 番目に高い地区である。地域住民による自発的なコミュニティが構築された場合の活動経費など、サポートするための助成。</p>
対象の区協議会	中区協議会
内 容	<p>○事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者が交流できる場を提供し、活動を通じ親睦を深め、地域のつながりを広げることで、地域コミュニティの醸成を図る。 ・南部協働センターを拠点に活動している地域団体、浜松市社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーと協働で実施し、地域に根付いた活動に発展するまで継続的に実施する。 <p>○活動場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部協働センター <p>○活動内容（参加する地域団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康体操 ・笑いヨガ ・折紙教室 ・踊り ・ロコモ体操 <p>※浜松市社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー</p>

	<p>から高齢者サロン活動のノウハウを学ぶため、事前勉強会を実施</p> <p>○参加者・予定人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者 30 人程度を見込む。 <p>○実施時期：令和元年 8 月～令和 2 年 2 月</p> <p>○実施主体：南部ふれあい高齢者サロン事業実行委員会</p>
スケジュール	<p>7 月末 浜松市社会福祉協議会と協定締結 実行委員会を設置</p> <p>8 月 実行委員勉強会</p> <p>9 月 参加者募集</p> <p>10～2 月 サロン活動（月 1 回、全 5 回）</p>
イベント周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・南部協働センターだより（自治会回覧） ・コミュニティソーシャルワーカーの協力により、自治会や民生・児童委員が把握している地域の高齢者世帯や一人暮らし高齢者、引きこもりがちな高齢者宅へ個別に周知する。
備考 (答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など)	協議結果を得たい時期：令和元年 6 月末日
担当課	中区区振興課（南部協働センター）

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

■ 高齢化率（総人口に対する65歳以上人口の割合）

地区	総人口	65歳以上人口	高齢化率	順位
中央	4,422人	1,415人	32.0%	1
北	5,656人	1,794人	31.7%	2
駅南	9,064人	2,661人	29.4%	3
西	14,302人	4,160人	29.1%	4
富塚	15,654人	4,446人	28.4%	5
県居	5,108人	1,448人	28.3%	6
城北	22,106人	6,023人	27.2%	7
江東	17,374人	4,525人	26.0%	8
江西	14,170人	3,682人	26.0%	9
東	9,700人	2,424人	25.0%	10
萩丘	73,378人	18,221人	24.8%	11
佐鳴台	10,426人	2,549人	24.4%	12
曳馬	36,379人	8,524人	23.4%	13

※資料「高齢者福祉課統計データ：高齢者の状況（平成30年10月1日現在）」

地域力向上事業「協働センターを核とした地域課題解決事業」

「南部ふれあい高齢者サロン」事業 概算事業費内訳書

区 分	概 算 額	備 考
負担金	165,000	<p>【協定締結先】 社会福祉法人浜松市社会福祉協議会</p> <p>【実行組織】 南部ふれあい高齢者サロン事業実行委員会 (構成員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南部協働センター所長、コミュニティ担当職員 (2人) ・ 浜松市社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー (2人) ・ 南部協働センター地域活動団体 (5団体) ・ 浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 地域共創学科 学生 (1人) <p>【内 訳】</p> <p>需用費 消耗品 56,000 円 (事務用品、開催資材)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サロン活動資材 11,000 円× 5 団体 ・ チラシ用色上質紙 (A4) 10 円×100 枚 <p>食糧費 30,000 円 (お茶菓子、お茶)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お茶菓子 100 円×150 人 ・ 飲物代 100 円×150 人 <p>印刷費 1,800 円 (当日配布資料)</p> <p>役務費 保険料 11,000 円 (レクリエーション保険)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2,200 円×5 回 <p>賃借料 介護タクシー借上 66,200 円 (車椅子送迎など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 往復 3,310 円×20 回
計	165,000	

※備考欄には区分の内訳を具体的にご記入ください。

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	令和元年度 浜松市中区市民活動表彰について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	優れた市民活動を行う団体を表彰することで、団体のモチベーションを高めるとともに、多くの市民に市民協働をPRするもの。
対象の区協議会	中区協議会
内 容	中区の区長賞表彰団体について、区協議会委員の意見を求めるもの。 【推薦団体】 ・ 学習支援曳馬ボランティア委員会 ※参考資料・・・別紙
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

区長賞選考資料

(ふりがな) 団体名	(がくしゅうしえんひくまぼらんていあいいんかい) 学習支援曳馬ボランティア委員会	(ふりがな) 代表者氏名	(かわい けいすけ) 川井 啓介
e-mail	*****	電話番号	****
		FAX 番号	****
団体設立年月	平成28年8月	団体員数	17人
団体活動目的	曳馬地区の厳しい環境にある子ども達の学習支援と子供食堂活動を通じて未来に希望が持てる子供たちを増やすことを目的とする。		
これまでの 主な活動実績	<p>塾に通っていない小学6年～中学3年の児童生徒に対し、毎週土曜日に各々2時間ずつ学習を教えている。 (教科:国語・算数、数学・英語、対象区域:曳馬中学校区)</p> <p>28年 8月:夏休みに上島小6年生を対象に7日間実施 28年 12月:冬休みに児童の居場所づくりとしてクリスマス会を開催 29年 4月:毎週土曜日に曳馬協働センターにおいて本格的に実施 30年 4月:曳馬中学校内にも活動拠点を設ける。 30年 6月:静岡県コミュニティづくり推進協議会平成30年度「コミュニティ活動集団」に指定される。 30年 9月:静岡県教育委員会平成30年度子どもをはぐくむ地域活動団体表彰受賞 30年 12月:曳馬協働センター「冬休み学習支援講座」に協力 30年 12月:静岡県コミュニティづくり推進協議会平成30年度「コミュニティ活動賞」優良賞受賞 31年 1月:中区地域力向上事業「地域活動団体等紹介パンフレット」に掲載される。 31年 3月:浜松市「子ども支援マップ」に掲載される。 曳馬協働センター「地域力・地域づくりを考える集い」において活動報告を行う。</p>		
P R し た い 活 動 実 績 の 概 要	活動名	曳馬塾	
	活動の期間	毎年4月～翌年3月	
	活動財源	補助金:静岡県コミュニティづくり協議会 寄 附:地元企業、個人	
	活動のきっかけ	曳馬地区の民生委員が、将来を担う子どもたち特に家庭環境が厳しい子どもたちに対し、居場所をつくりながら学習支援を実施することで、将来に夢を持ってもらうことを目指してつくった。	

	内容	<p>塾に通っていない小学6年～中学3年の児童生徒に対し、ボランティア講師が毎週土曜日に各々2時間ずつ学習を教えている。 (教科:国語・算数、数学・英語、対象区域:曳馬中学校区)</p>																				
	成果	<p>○平成30年度実績(開催日数:61日)</p> <p style="text-align: center;">児童生徒出席人数等実績</p> <table border="1" data-bbox="491 517 1273 689"> <tr> <td>小中</td> <td>延べ出席人数</td> <td>延べ時間数</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>440人</td> <td>934時間</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>309人</td> <td>556時間</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>749人</td> <td>1490時間</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">ボランティア講師実績</p> <table border="1" data-bbox="491 730 949 904"> <tr> <td>登録人数</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>434人</td> </tr> <tr> <td>開催日数</td> <td>61日</td> </tr> <tr> <td>延べ時間数</td> <td>1434時間</td> </tr> </table>	小中	延べ出席人数	延べ時間数	中学生	440人	934時間	小学生	309人	556時間	合計	749人	1490時間	登録人数	22人	延べ人数	434人	開催日数	61日	延べ時間数	1434時間
小中	延べ出席人数	延べ時間数																				
中学生	440人	934時間																				
小学生	309人	556時間																				
合計	749人	1490時間																				
登録人数	22人																					
延べ人数	434人																					
開催日数	61日																					
延べ時間数	1434時間																					
	この活動について更に発展させたいこと	<p>現在は、曳馬地区での活動ですが、今後浜松市全体に拡がり、将来的にはNPO法人が設立されればよいと考えている。</p>																				
	活動に協力した団体等	<p>行政 ・ 企業 ・ その他(浜松市社会福祉協議会)</p> <p>協力の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曳馬協働センターから推薦し、各賞の受賞。 ・ 曳馬協働センター冬休み学習支援講座の開催。 ・ 曳馬協働センター「地域力・地域づくりを考える集い」において活動報告。 ・ 浜松市社会福祉協議会主催の浜松市学習支援団体連絡会において活動報告。 ・ 企業から活動費として、寄付金を募る。 																				

浜松市市民活動表彰について（令和元年度）

1 目的

優れた市民活動を行う団体を表彰することで、団体のモチベーションを高めるとともに、多くの市民に市民協働をPRするもの。

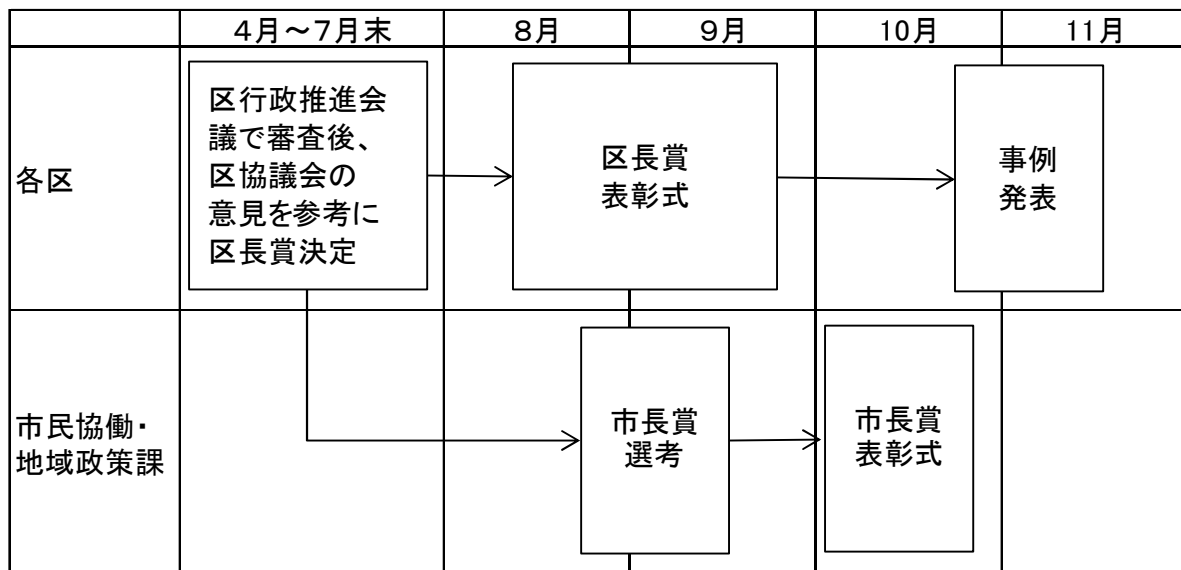
《期待される効果》

- ・ 市民協働のPR
- ・ 団体のモチベーションの向上
- ・ 団体の存在や活動のPR

2 概要

- (1) 区長賞表彰団体を各区で推薦する。
- (2) 区長賞表彰団体の推薦にあたっては、各区の区行政推進会議等で審査・決定。（各区行政推進会議で審査の後、各区協議会に意見を求め、その意見を踏まえ決定。）
- (3) 区長賞表彰団体は原則各区1団体とするが、必要な場合は複数選定することも可とする。
- (4) 市長賞については、区長賞表彰団体を区長連絡会議で候補を絞り、市長が決定する。
- (5) 区長賞表彰団体の事例発表については各区の裁量において場や機会を設け、実施する。

3 スケジュール案（H31.4.16時点）



4 対象団体

- ・ 市内に住所を有する又は市内で活動する法人、その他グループ。法人格の有無は問わないが、公序良俗に反する活動を行う団体でないこと。

例：企業、NPO、自治会、ボランティア団体、まちづくり団体、学校のサークル等

5 対象となる活動

- ・ 区内の課題解決のために行った公益性の高い活動で、継続中または平成30年4月1日以後に終了したものとする。

例：環境保全事業、青少年育成事業、福祉事業、交通安全事業、町おこし事業、高齢者支援事業、防災事業、観光振興事業、スポーツ・文化振興事業など

※営利活動、宗教活動、政治活動、国・県・市からの委託事業、公序良俗に反する活動を除く。